

きのせ明子

県政レポート



河川整備を急げ 国交省と交渉 浚渫・樹木除去に国庫負担増を

7月に西日本を襲った記録的豪雨は、人命を奪う甚大な被害を与えました。台風の際に人命を守る対策が求められます。河床の土砂堆積や樹木の繁茂は、水害を拡大させる要因となります。ところが県の河川整備の進捗は、整備計画の56%です。

大戸川は、10年確率（時間雨量50mm）の降雨に対応した河川整備計画に対し進捗は昨年度末で7割です。党地方議員団は、8月21日、国土交通省と交渉し「近年の異常気象に対し、国直轄河川も、県管理の河川も、河川整備は一刻の猶予もない。浚渫・樹木除去をすすめるため、国庫負担の増額を」と求めました。
(写真：国交省へ申し入れる、党国會議員と滋賀県地方議員団)



ダムは想定を超える水量時には危険

7月の豪雨で、愛媛県の肱川の野村ダムが貯水量の想定を超え、安全放流量の6倍にあたる流水を緊急放水し、下流域で5人が死亡、住宅60棟が浸水。大きな被害をもたらしました。

近年、記録的な降雨があるなか、滋賀県議会の自民党が、大戸川ダム建設の動きを強めています。しかし、ダムは貯水量を超える降雨時には住民を危険にさらすものとなります。いま必要なのは、河川改修、堤防強化や遊水池など、洪水を受け止める流域治水整備と、森林保全による保水力の向上に取り組むことです。

わが町の洪水・土砂崩れ 危険を知り早めの避難を

気象庁の特別警報は、記録的な豪雨となることが分かっている場合でも、事前にピンポイントで被災地を予測することができません。土砂崩れや河川の洪水を予測する、山間部の雨量観測システムが少ないためです。今後も豪雨となる可能性があります。わが町の河川の洪水や土砂崩れの危険地域を示したハザードマップを活用し、警報が出た時は、早めの避難を心がけて下さい。

(写真：樹木が繁茂する大戸川)



住民要求実る！

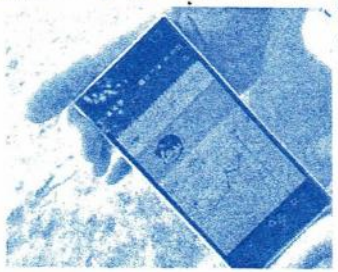
県立高校エアコン設置前倒しが決定

8月は猛暑が続き、生徒の学習環境に不安の声が相次ぎました。日本共産党県議団は、「エアコンが未設置である県立高校への整備を今後3年間としているが、今年の異常な猛暑に対策するため、未設置の22校すべてに前倒しで設置を」と求めてきました。9月議会では、切実な声に応え、エアコン前倒し設置の補正予算が組まれ、早急に設置がすすめられようとしています。

児童クラブの暑さ・狭さ対策を

児童クラブの夏休み入所で、児童数が増える時期、暑さや施設の狭さに心配の声が寄せられています。

大津市議団と連携し、児童クラブを視察しました。今年は猛暑のため、例年使う小学校の体育館や運動場、プールの使用も中止となり、児童の遊びが制限されました。ある児童クラブでは、子どもたちが、外遊びをしても安全かどうかを、暑さ指数を測定し、「危険」「厳重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」などと知らせるアプリを活用しておられました。安全と判断し、外遊びができたのは、夏休み入所期間で数回だったそうです。例年のない猛暑をふまえた対策はこれからの課題です。市議団と連携し、暑さ・狭さ対策を求めていきます。



(写真：暑さ指数を測定するアプリ)

米軍基地もオスプレイもいらぬ！ 沖繩知事選「オール沖縄」の勝利を

5年前の9月16日、高島市の陸上自衛隊響庭野演習場で、米海兵隊の垂直離着陸機MVオスプレイを使った、日米合同演習が行われました。墜落事故を重ねるオスプレイ飛行に、住民からの強い不安の声があり、県や高島市も市街地上空を飛行しないよう要請しました。しかし、その要請も無視して市役所や駅上空を飛行。来年1月〜3月には、再び響庭野で日米合同演習が予定されています。県民の安全より、米軍との「戦争訓練」を優先する日米両政府を、このまま許すわけにはいきません。9月の沖繩知事選で、「基地もオスプレイも許さない」ことを訴える「オール沖縄」に連帯し、玉城デニーさん勝利に全力を尽くします。



ご意見・ご要望は「こちら」まで

発行：日本共産党滋賀県委員会

大津市昭和町4-1-8

TEL: 077-522-8210 FAX: 077-522-8282

